柏駅周辺まちづくり

10ヵ年計画

柏　　市

１．柏駅周辺中心市街地の整備方針

（１）まちづくりの基本的考え方

①歩行者優先の道路ネットワークの形成

歩行者が歩きやすく、居心地の良さを感じる歩行者空間へ現在の道路空間を再構成し、歩行者を優先した空間に作りなおし、街中に歩行者優先の道路ネットワークを形成する。

②広がりを持った魅力と多様性のある市街地の形成

歩行者優先の道路ネットワークにより、街全体の歩行者の回遊性を向上させ、各「通り」沿いに魅力ある施設の立地を誘導し、広がりを持った魅力と多様性のある市街地を形成する。

③まちづくり10ヵ年計画を実現するための仕組みの構築

中心市街地の関係者間において、まちづくりの基本的な方向を共有しながら、確実にその実現を図るための仕組みを構築する。

（２）まちづくりの基本方針

①歩行者優先の道路ネットワーク形成に向けた交通計画の基本方針

１）駅周辺の自動車交通は主に幹線道路及び地区内集散道路で処理し、エリア内の細街路等には自動車ができるだけ入らないような交通処理を行う。（図１）

２）東口エリアにおいては、サンサン通りを常時 双方向交通とし、ハウディモールを歩行者優先ネットワークの軸として歩行者専用道路化する。また、東口駅前広場の交通処理の見直しを行うとともに、サンサン通り、幸通りの一部区間について道路断面を見直し、朝、夕の停車車両のための空間を確保する。（図２）

３）西口エリアについては、あさひふれあい通りのコミュニティ道路化や、既存の路地を歩行者優先の空間として高質化整備し、西口エリアの歩行者ネットワークを形成する。また、西口北地区の再開発事業により、新たなバスターミナル等の設置を検討する。（図２）

②広がりを持った魅力と多様性のある市街地の形成に向けた基本方針

ネットワークを構成する各「通り」沿いには、「通り」の特性に応じた施設の立地誘導を進め、こうした「通り」がネットワークすることで多様性を持った街を構成する。

こうした特性のある「通り」と、集客力のある大型店が相互に補完・連携することにより、広がりを持った魅力と多様性のある市街地を形成する。

③まちづくり10ヵ年計画の実現に向けた仕組みの構築について

「通り」の整備に当たっては、各「通り」ごとに関係者によるワークショップ等を行って、「通り」の将来像、整備内容、沿道の建物のルール作り等に取り組む。

また、「通り」には、地権者をはじめ関係者が多いこと、実現には長い時間を要すること等から、関係者の取り組みが同じ方向を向くものとなるよう、常日頃から協議・調整を図りながら進めることが必要となる。そのため、こうした関係者の協議・調整の「場」を設けるとともに、公・民・学が一体となった推進体制を構築する。

図1　道路ネットワークと自動車動線

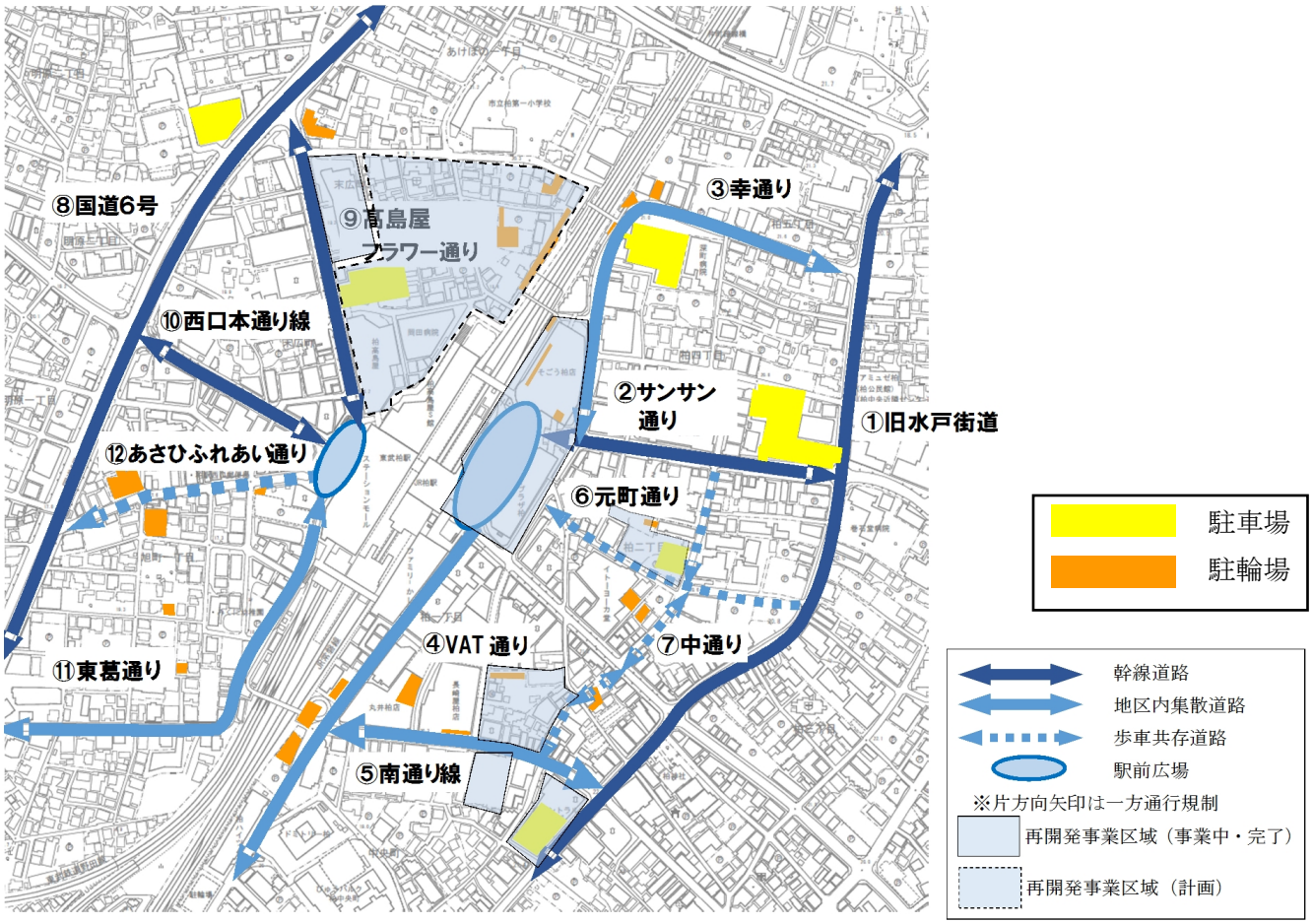
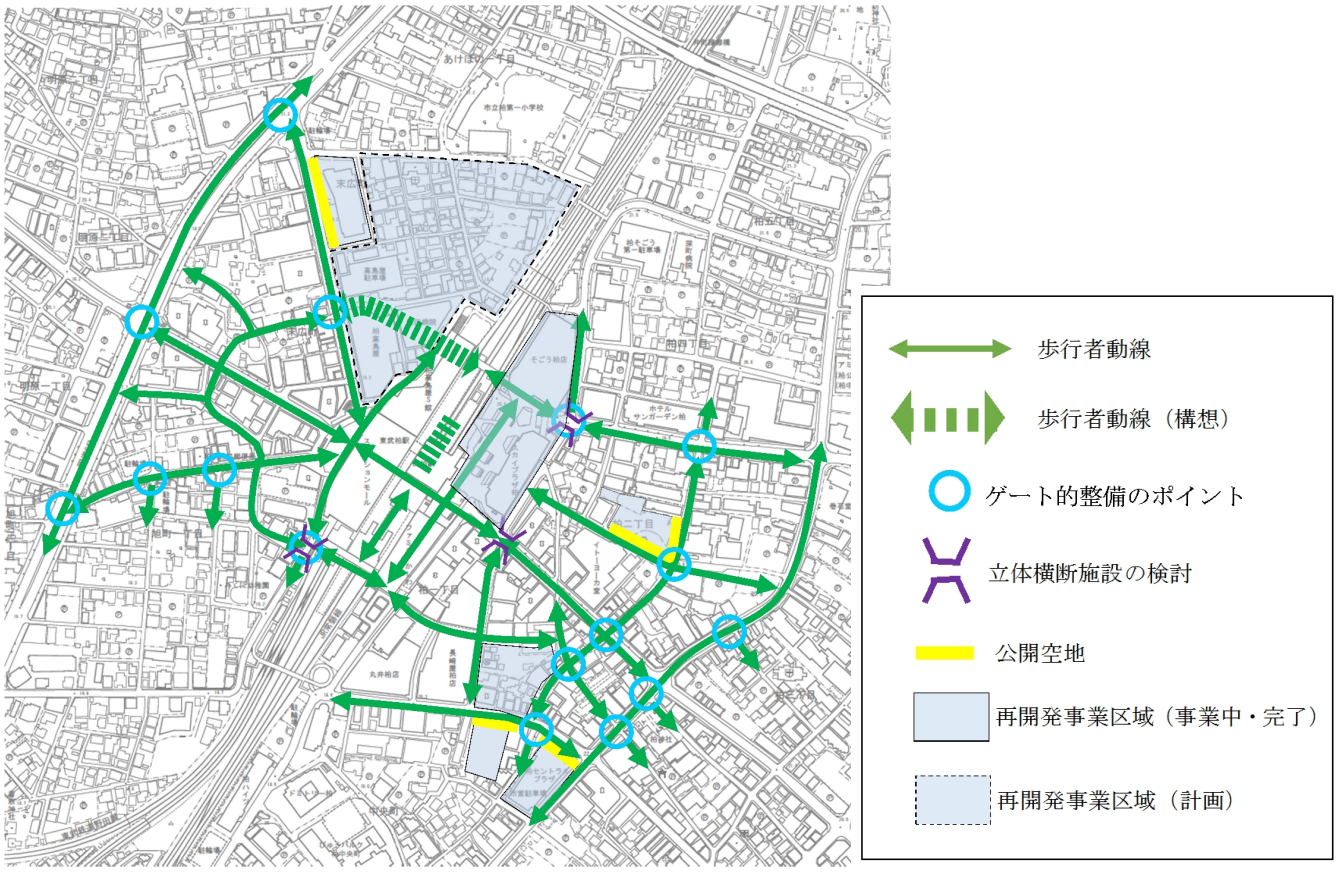
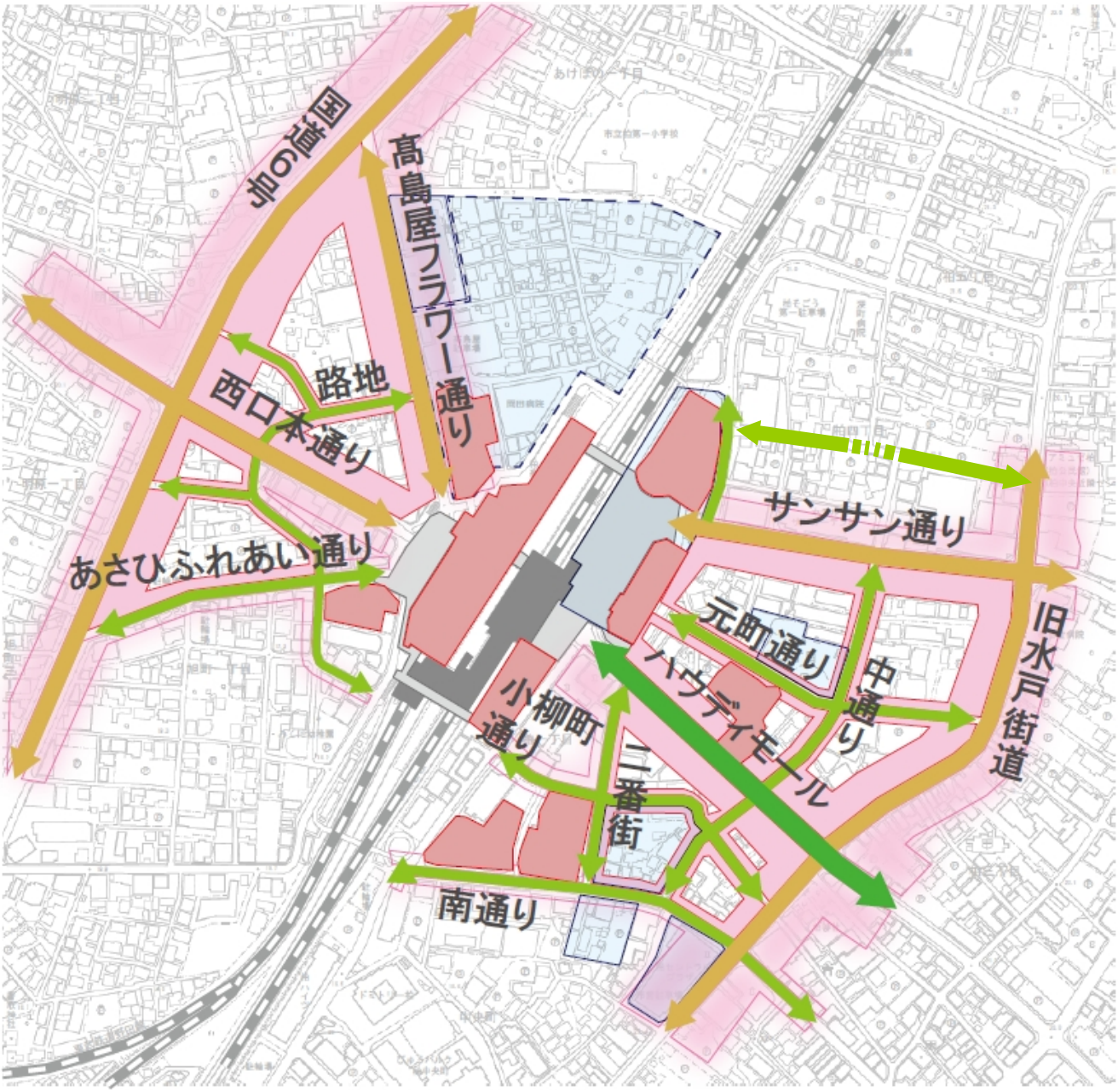


図2　歩行者優先の歩行者ネットワーク



2. 「通り」を中心とした柏駅周辺の整備計画



大型店

再開発事業区域

商店街・個店

東口の歩行者回遊の軸となる通り

都市の機能を支える通り

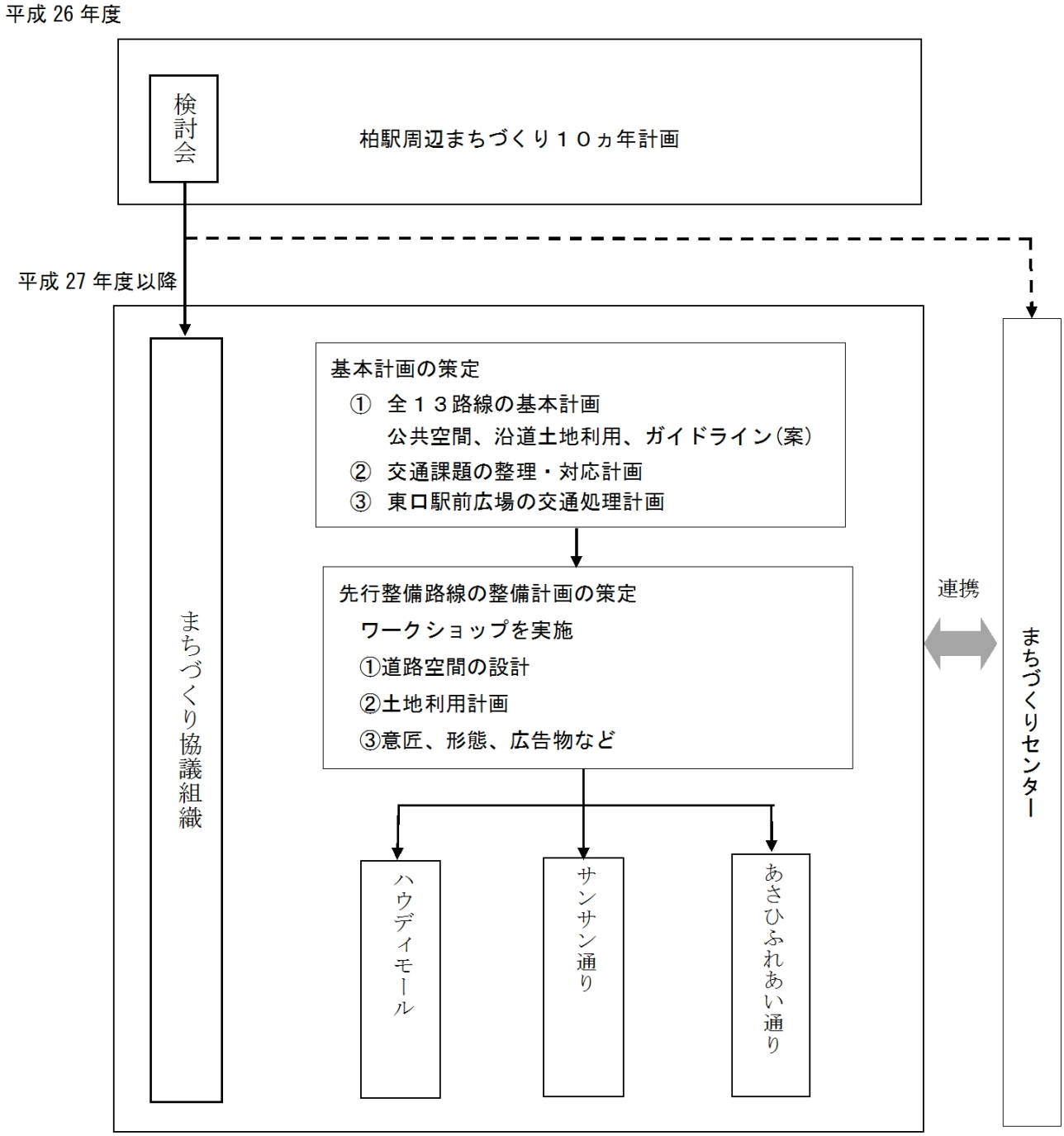
にぎわいをつなぐ通り

路　地

3. 通りの整備イメージ（案）

1）ハウディモール

2）サンサン通り

3）あさひふれあい通り

4. 次年度以降の検討内容と体制